

団体名	公立小松大学						
事業名	小松で学ぶ！留学生日本文化体験						
実施期間	2024年 5 月15日～2025年 1 月15日						
場 所	こまつ曳山交流館みよっさ、九谷セラミック・ラボラトリー、公立小松大学中央 キャンパス英語カフェ、町家ハウスRyusuke						
参加者数	外国人 留学生	日本人 学生	地域住民 (留学生以外の 外国人)	地域住民 (外国人除く。地域 のスタッフ含む)	申請団体 スタッフ	その他	合計
	6	0	0	8	2	0	16名

＜実施内容＞

2024年5月から2025年1月にかけて、公立小松大学に交換留学として滞在する留学生や大学院で学ぶ留学生たちが、地域住民との交流を通して小松市の文化や日本文化を学ぶことを目的とする、「小松で学ぶ！留学生日本文化体験」を実施しました。第1回目は、こまつ曳山交流館みよっさにて、小松市の伝統的なお祭りであるお旅祭りについて学び、歌舞伎メイクなどを体験しました。第2回目は、九谷セラミック・ラボラトリーにて、九谷焼の歴史や制作過程を学び、実際に手びねり体験を行い、オリジナルの九谷焼を作成しました。第3回目は、草花の自然の姿をそのまま器に生ける日本ならではの生け花について、実際に体験しながらその美しさを学びました。第4回目は、日本の伝統的な衣服である着物について、自分たちで着用しながら、袖が長い理由など着物の仕組みや行事ごとの着物の違いについて学びました。そして第5回目は、季節を表現する日本ならではの和菓子について、作製しながらその繊細さを学びました。全5回の体験を通し、留学生たちが学ぶだけでなく、教えていただいた地域住民の方々にとっても、互いの文化の違いを学び、尊重することの大切さを学ぶ機会となりました。今後母国へ帰国する留学生たちは、今度は自身が小松の文化あるいは日本文化を自国の人々へ伝え、また、日本で引き続き学ぶ留学生たちは、興味のある文化に対する学びをさらに深めていくことが期待されます。

＜記録写真＞



着物着付け体験



生け花体験



九谷焼体験

＜参加者からのコメント＞

Zhong Jingwenさん（中国）

日本での和服体験を通じて、私は和服の着用が思ったほど簡単ではなく、一歩ずつ日本の歴史文化が含まれていることを発見しました。生け花や和菓子体験は、スローペースで生活を体験しているような気がしました。これらの体験イベントは、日本人の生活への愛情を感じさせてくれました。これらの文化体験活動を通じて、私は多くのことを学び、その後の異文化間の交流をより楽しみにしています。

Liu, Li-Qiさん（台湾）

和服体験では、以前は他の人に着せたことはありましたが、自分で着るのは初めてでした。見えない角度があるため、思ったよりも難しかったですが、全体の過程はとても楽しく、日本人の礼儀作法も学ぶことができました。和菓子の授業では、作り方を学びました。美しい和菓子を作るのは本当に難しく、一つ完成するたびに達成感を感じました。また、生け花体験もあり、先生が毎回異なる季節の花材を用意してくださったおかげで、多くの花の名前や生け花の知識を学ぶことができました。自分で作品を作れることがとても嬉しかったです。

英語名称（英語版作成用）

団体名	Komatsu University
事業名	Learning in komatsu!Japanese cultural experience for foreign students